

発行 車体発 15 第 166 号
2015 年 11 月 6 日

2015 年度秋季会員大会のご挨拶

10 月 30 日に開催しました秋季会員大会における会長 渡邊 義章（日産車体㈱ 取締役社長）のご挨拶をお知らせいたします。

本年の通常総会で、皆様のご承認をいただき、車体工業会会長を務めております渡邊でございます。会員の皆様には、日頃から当会の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また本日はご多用中にもかかわらず、このように多くの会員の方々にご出席をいただき、秋季会員大会を開催することができましたことに心より感謝申し上げます。

さて、本年度 4 月から 9 月の当会会員生産台数累計は、117 万 5 千台、前年比 105%となっています。カーメーカーからの委託生産車を除く当会特有車種を見ますと震災復興関連車種等により、87 千台、前年比 102%となっており、前年並みの状況です。乗用車の需要回復は遅れておりますが、当会特有車種につきましては、下期の生産台数も前年並みで推移するのではないかと思います。

それでは、当会事業計画の進捗状況について少しお話しさせていただきます。今年度は、「安全対応活動の推進」、「環境対応自主取組みの推進」、「中小企業支援活動の推進」、「活性化活動の継続推進」、を主要活動 4 項目と位置づけ活動しております。

まず第 1 項目の「安全対応活動の推進」につきましては、番号標表示に関する基準案への対応に関し、関連団体とも連携し概ね当会要望案が反映される見通しとなりました。また、突入防止装置に関わる協定期則 R58 第 3 次改訂後の法規対応についても計画どおり進捗しております。

第 2 項目の「環境対応自主取組みの推進」では、環境適合ラベル取得の推進に取り組んでおります。会員の皆様とのコミュニケーション、更に部会の協力も得ながら個社の課題解決にも取組み、取得機種は 9 月末現在、昨年度から 10 機種増の 203 機種となりました。これは会員の皆様のご理解とご協力のお陰であり、お礼申し上げます。また、これまで以上に会員の皆様が環境基準適合ラベルを「取得して良かった」と実感していただける、環境基準適合ラベルのプレゼンス向上策を検討し、年度末の実現に向け取り組んでいるところで、そして継続して取り組んでおります。CO₂、VOC、産業廃棄物の削減は、いずれも皆様の協力のおかげで、目標を達成出来る見込みでございます。

第3項目の「中小企業支援活動の推進」では、税制改正や規制改革などの各種要望を提出し、その実現に向け関係団体と連携し取組んでおります。また、安全衛生活動では会員の皆様に参考としていただける情報発信に向けた取組みを推進しております。

最後に「活性化活動の継続推進」では、車体業界の認知度向上を図るためプレスリリースの計画的発信とともに、当会活動のPRを行っております。また、3年目を迎えた「チャレンジ5活動」はこれまでの取組みを踏まえ、異業種からの学びをどのように生かしていくかなど、計画どおり進捗しております。

以上のように、本年度事業計画は、概ね計画どおり進捗していると判断しております。引き続き皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日は「第44回東京モーターショー2015」の開会日であり、先程、私も開会式に出席してまいりました。今回のモーターショーは、「きっと、あなたのココロが走り出す。」“Your heart will race.” をテーマに11月8日まで開催されます。このショーが国内需要喚起の更なるきっかけになることを願っております。

我々の車体部門は、東ホール屋内に3社出展し、東ホール屋外には13社14台の「働くくるま」合同展示場を設置しました。後ほど、会場で確認いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とますますのご発展を祈念いたしまして、開会のご挨拶にかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

以上

<日本自動車車体工業会 東京モーターショー2015 サイト>

<http://www.truck-next.com/sp/motorshow/2015tokyo/index.html>

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 色摩

一般社団法人 日本自動車車体工業会 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階
TEL(03)3578-1681 <http://www.jabia.or.jp/>